

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	平成29年 9月11日
発信課	旭川空港事務所
担当者	澤田 勇一
連絡先	電 話 0166-83-2200
	FAX 0166-83-3643
	E-mail y_sawada@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事
日 程	9 月 20 日
発表項目 (行事名)	平成29年度 旭川空港航空機災害消火救難活動訓練
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>趣旨 旭川空港において航空機災害が発生したことを想定し、空港内外の関係機関が各緊急活動を連携して実施し、総合的な活動手順の習熟を図ることを目的とする。</p> <p>日時 平成29年9月20日(水)13時30分～15時30分 ※事故発生想定時刻は13時50分ころ</p> <p>場所 旭川空港 誘導路P-2、消防除雪車庫周辺、1番スポット(ドクターヘリ)</p> <p>参加機関 別紙1参照</p> <p>訓練概要 別紙2参照</p>
添付資料	<p style="text-align: center;">有</p> <p>※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。</p>
報道(取材)に 当たってのお願い	<p>①13時10分頃に旭川空港事務所にて入場許可受付の上、空港事務所職員の指示に従い入場してください。(別添 旭川空港位置図参照)</p> <p>②駐車場は、空港ビル駐車場をご利用ください。</p> <p>③取材時には旭川空港事務所職員が同行します。同行職員の指示に従い、取材をお願いします。</p> <p>④現場では、訓練車両の走行、消防車両からの放水、ヘリコプターの離着陸等がありますので、十分注意し空港関係者の指示に従うようお願いいたします。</p>
備 考	

1. 参加団体（旭川空港消火救難隊）

旭川市（旭川空港事務所）
東京航空局旭川空港出張所
日本航空(株)旭川空港所
全日本空輸(株)旭川空港所
旭川石油(株)旭川空港事業所
日本通運(株)旭川総代理店
道北航空サービス(株)
旭川空港ビル(株)
旭川空港総合維持管理（JV）
旭川東警察署

10団体

2. 旭川空港内機関

気象技術センター旭川航空気象観測所
函館税関札幌税関支署旭川空港出張所
札幌入国管理局旭川出張所
小樽検疫所旭川空港出張所

4団体

3. 協力機関

大雪消防組合
旭川市消防本部
旭川市医師会
旭川赤十字病院
旭川医科大学病院
陸上自衛隊第2師団

6団体

3. 訓練参加予定人員及び緊急車両

人	員	約130名
消防関係車両		約25台
ヘリコプター		1機（ドクターヘリ）

訓練想定

滑走路 34 にて着陸したセーフティ航空 920 便が着陸後、滑走路より逸脱しグリッドマップ I-10 付近にて墜座、第二エンジンより出火。

- ・便名 セーフティ航空 920 便
- ・機種 ボーイング 767-300 型機（想定機：マイクロバス）
- ・搭乗者 乗員 8 名 乗客 212 名
- ・傷病者 重症 8 名（ダミー人形 6 体＋傷病者役 2 名設定）
中等症 4 名（傷病者役 4 名設定）
軽症 2 名（傷病者役 2 名設定）
無傷者 206 名（想定とし実際の搭乗者役は配置しません）

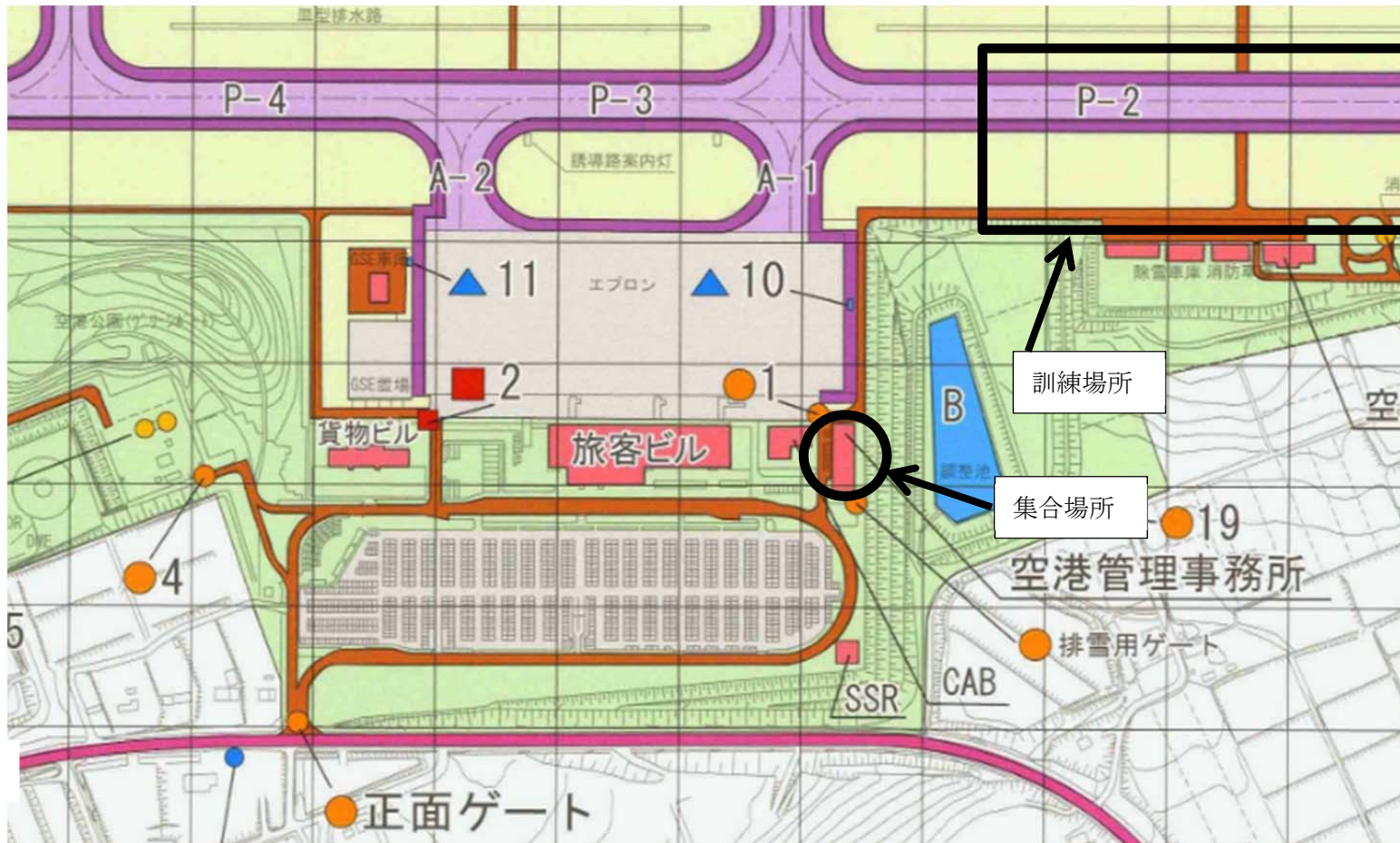
訓練実施場所

- ・想定現場 誘導路 [P-2]（グリッドマップ I-10 付近）
- ・救護区域 除雪車庫前
- ・現場調整所 誘導路 [P-2]（グリッドマップ J-10 付近）
- ・ドクターヘリ エプロン No.1 スポット

訓練概要

- ・ 旭川空港管制塔から旭川空港事務所及び旭川空港消防隊に緊急事態発生通報。
- ・ 旭川空港事務所から関係機関に緊急連絡。
- ・ 空港消防隊が直ちに出動，自治体消防（旭川市消防・大雪消防組合）も応援出動。
- ・ 空港内機関で構成する旭川空港消火救難隊，警察機関，医療機関の要員も次々と現場到着。
- ・ 出火した想定機に対しての空港消防隊，自治体消防隊による消火活動開始（放水）。
- ・ 旭川空港消火救難隊，自治体消防隊，合同による負傷者救出活動。
- ・ 旭川空港消火救難隊にて負傷者の誘導及び担架搬送し，医療機関によりトリアージ地区にて負傷程度の判定（トリアージタグ取り付け）。
- ・ 負傷の程度により，第 1～3 救護所（エアータント）へ誘導・担架搬送振り分け。
- ・ 医師会及び医大の医師・看護師が応急処置を行い，重傷者は救急車またはドクターヘリで緊急輸送。

旭川空港位置図



至美瑛

至東神楽市街地